

### 1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
	側面	特徴			
思索型	内閉性	社交意識が低い			65
	客観性	思考的思慮深い			85
活動型	身体性	機敏な・気軽な			43
	気分性	感情のまま行動			63
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			53
	規則性	常識的・順法的			44
積極型	競争性	勝気な・積極的			65
	自尊心	気ぐらいが高い			76
自制型	慎重性	見通しをつける			85
	弱気さ	取越苦労・遠慮			57

この人の中心性格は「思索・客観性」および「自制・慎重性」であるが、「積極・自尊心」や「思索・内閉性」といった側面も本人は意識している。

「思索・客観性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ  
空想癖があり、自分の殻にこもってしまうことがある。それは自己の内面的世界で遊び、美的な生き方をしているあらわれでもある。独自の価値観の持ち主であるといえ、自分を含めて環境を客観的にとらえる傾向が強く、物事をあるがままに把握しようとする。性格的にうつる印象として、やや暗いという感じも受けるが、自分自身について深く内省していて、よく話してみると、その豊かな内面性を垣間見ることができる。また、過信することなく、石橋を叩いて渡るような慎重性が本質といえる。思いやりがあり自分をおさえる良さがあるのだが、自分でどうしようもない問題が起こると必要以上に自分の責任を背負い、くよくよと取り越し苦労するといった気弱で引っ込み思案な面もある。神経が細かく過敏なため、人前では緊張してしまうことがあり、快活に振る舞いをあまり得意としない。そして、気持ちに余裕がなくなってしまうと、多少不安定な行動をとる可能性もある。一般的にはまじめで一途な人に多いが、柔軟性に欠け大らかさがない。

もう一方の性格特性  
行動力がなく、尻がおもたい印象をもたれている。身軽にテキパキと動きまわるといよりも、内にもこりがちな性格といえる。また、環境への適応力に欠けるためか、新しい人や土地に対してはなかなか馴染めずに、人嫌いと思われるところがある。

### 2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱	強	指数
対人ストレス耐性			41
目標ストレス耐性			50
繁忙ストレス耐性			45
拘束ストレス耐性			37
総合ストレス耐性			40

### 信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

### 3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			44
協調性			48
責任感			51
自己信頼性			53
指導性			59
共感性			63
感情安定性			41
従順性			32
自主性			54
モラリア傾向			67

環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。

今の考えや生き方について、確信がつかめず悩んでいる。

### 4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			64
自律 欲求			52
求知 欲求			54
危機 耐性			38
勤労 意欲			52
顕示 欲求			57
支配 欲求			64
親和 欲求			48
秩序 欲求			47
物質的欲望			73

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

危機に遭遇したりすることは、はじめから避けていたい。

人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。